

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 研究計画書、シラバス、適切な科目履修を通じた教育研究体制の整備・運用を行う	→研究科所属教員による、FDのための意見交換会の実施回数	A
2. 授業科目ごとにシラバスを作成し、授業がシラバスに沿って、進められているかどうかを学生にアンケートする	→学生アンケートの実施回数	A
3. 成績付与の現状を情報として教員間で共有し、成績評価については、学生からの疑義申し立ての制度を整備運用する	→疑義申し立て制度の整備と各学期ごとの定期的な実施	A

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

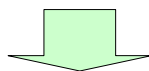
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.3.1	(方針) 研究計画書に基づいた研究指導を展開することで、学生の研究が円滑に計画通り推進されるように、きめの細かい指導を心がける。 (現状説明) 研究指導は準備計画書や中間報告書に基づいて、適切に進捗度管理が行われている。これらの計画書は、指導教授とその補佐教員が綿密にチェックを行っている。
☆ 小項目6.3.2	(現状説明) 研究指導は、シラバスに基づいて、推進されている。なお、多くの研究指導では、シラバスに加えて、逐次、指導教員を通じた口頭での研究の方向性についての意見などが学生に提供されている。
☆ 小項目6.3.3	成績評価は、研究指導における報告やレポートの作成、学術誌への投稿の内容や実績に基づいて、適正に行われている。
☆ 小項目6.3.4	半年毎に学生からは研究す非道や講義に対するアンケートを回収し、研究指導内容の更なるバージョンアップに教員が積極的に活用している。また、日常の密な研究指導体制の維持に心がけ、学生が抱える研究上の悩みなどについては、迅速な対応が図られている。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.3.1	
小項目6.3.2	
☆ 小項目6.3.3	
小項目6.3.4	
その他	



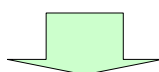
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.3.1	
小項目6.3.2	
☆ 小項目6.3.3	
小項目6.3.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.3.1	
小項目6.3.2	
☆ 小項目6.3.3	
小項目6.3.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.3.1	
小項目6.3.2	
☆ 小項目6.3.3	
小項目6.3.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○適切な対応がなされていると判断されます。

【学内委員】

○目標の指標の1つに「授業アンケートの実施」とあり、進捗状況が「A」とありますが、後期課程で授業アンケートを実施しておられるのでしょうか。おられる場合には、そのように記述された方がよいと思います。

○現行の目標は通常業務の方針のようになっています。すべて進捗評価「A」ですので、中期的な目標をあらたに設定されることが期待されます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

☆ 本課程では毎年度授業アンケートを学生を対象に行い、その結果を踏まえた、教育内容・方法等の見直しを行っている。今後は、より一層の充実を図るために、課程を修了し博士学位を取得した学生を対象に、教育内容・方法・成果に関する聞き取り調査などを行い、体制の強化を推進できるような方策の確立について検討を行う予定である。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.3.0.S1	大学院生の論文件数(査読制の雑誌と学内紀要等に分ける)
6.3.0.S2	履修者数規模別の授業科目数(少人数・中人数・大人数)
6.3.0.S3	少人数授業の授業形態の調査
6.3.0.S4	規模別講義室・演習室使用状況
6.3.0.S5	マルチメディア教室の稼働率
6.3.0.S6	遠隔授業を活用した授業の比率
6.3.0.S7	学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答の比率
6.3.0.S8	定期試験の問題の適切性を検討する会議・委員会の有無と開催頻度
6.3.0.S9	一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数
6.3.0.S10	日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合
6.3.0.S11	各年次セメスターごとの履修単位数制限の状況
6.3.0.S12	成績評価の分布が適正な科目(平均点が70-75点)の比率
6.3.0.S13	GPA値(全学、学部別、男女別など)
6.3.0.S14	履修者別開講科目数・1科目当たりの履修者数
6.3.0.S15	学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答比率(大学、学部別、授業形態別)
6.3.0.S16	オープン授業(授業公開)の全授業における割合
6.3.0.S17	学生の授業評価の実施率(全学、学部別)
6.3.0.S18	学生の授業評価における当該授業への満足度に関する質問への肯定的な回答比率(大学、学部別、授業形態別)
6.3.0.S19	在学生のうち、授業をまじめに評価したと思う学生の比率
6.3.0.S20	在学生のうち、学生による授業評価アンケートの実施が授業を変えるのに役立っていると思う学生の比率
6.3.0.S21	卒業生のうち、大学時代に学んだことや経験(キリスト教関連科目)が、現在の生活に役立っていると思う人の比率
6.3.0.S22	卒業生のうち、大学時代に学んだことや経験(語学)が、現在の生活に役立っていると思う人の比率
6.3.0.S23	卒業生のうち、大学時代に学んだことや経験(一般教養的な授業)が、現在の生活に役立っていると思う人の比率
6.3.0.S24	卒業生のうち、大学時代に学んだことや経験(専門科目)が、現在の生活に役立っていると思う人の比率
6.3.0.S25	卒業生のうち、大学時代に学んだことや経験(ゼミ)が、現在の生活に役立っていると思う人の比率

<個別的な指標>
